

特集：未就学児のいる家族を応援する

図書館の赤ちゃんタイム

— 茨城県神栖市立中央図書館 —

神崎 英一

はじめに

神栖市は、茨城県の最南端にあり利根川をはさんで千葉県銚子市に隣接しています。2005年に神栖町と波崎町の2町が合併して神栖市が誕生し、現在の人口は95,000人余りです。

市立図書館は、1990年7月に中央図書館が開館し27年が過ぎました。当時の町人口は4万人前後で開架10万冊+閉架書庫10万冊、計20万冊を収容する図書館としてスタートしました。なお翌年に5万冊収容の「うずも図書館」を開館、さらに合併時に各公民館図書室をオンラインで結び2図書館と4公民館図書室の6拠点で図書館サービスを行っています。

開館当時を振り返る資料として「神栖町図書館基本計画1988」があります。図書館計画施設研究所・故菅原峻先生に委託したものです。

話は突然2014年にとびますが、この年の6月市議会において、図書館の指定管理者制度導入議案

が否決されました。このときには公立図書館の役割、当市の図書館運営や我が町にとっての図書館の役割などの論議になり、様々な情報を探した中で菅原峻氏図書館講話集(*1)が大変参考になりました。この中で先生の解説図をどこかで見たような・・・そう、当市の図書館基本計画にもありました。

あらためて菅原先生の図書館に対する考え方に導かれている？そして先生のお考えが実践できてきたかなと思ひ反省するところです。

建設当時は、建物面積や購入図書数などにしか目がいていませんでした。しかしながら20年以上経過し、突然、指定管理者制度の導入など図書館運営大転換の岐路に立った時に、私たちの町にとって公立図書館の使命とは！と原点に立ち戻って見つめ直すこととなりました。

赤ちゃんタイムへようこそ

図書館の赤ちゃんタイムは2013年6月6日(木)



神栖市立中央図書館外観 所在地：茨城県神栖市大野原4-8-1
延べ床面積：2,600m²
神栖市の人口：95,000人
神栖市の面積：147km²



閲覧室正面に実施中の案内

* 1 菅原峻氏図書館講話集

<http://fuji.pro.tok2.com/syokouen.html>